

報道関係者各位
プレスリリース

2007年3月19日

KJS紀陽情報システム株式会社

紀陽情報システム、自治体向け財務会計システムをASP方式により提供を開始

紀陽情報システム株式会社(本社:和歌山市中之島 代表取締役:花田通夫、以下:KJS)では自治体向け財務会計システムをASP方式により提供するサービスを開始いたします。第1号として、和歌山県後期高齢者医療広域連合様(連合長:玉置三夫)から業務を受託し、3月22日にスタートすることとなりましたので、ご報告いたします。

KJSでは、県下トップのソフトウェア企業を目指し、自治体および企業のIT化というニーズに対して、種々のサービスを提供してまいりました。今回、自治体システム構築で培った豊富な経験と実績・技術・ノウハウすべてを集約し、体系化した財務会計システムを開発し、安く、早く、安心してご利用いただくために、ASP方式によるサービスの提供を開始することといたしました。

ASP方式による財務会計システムの自治体への導入は、和歌山県下では初となります。

- (1) 自治体向け財務会計システム
予算編成から執行・決算までの一連の実務を、充実した機能と出力帳票により、総合的に支援しています。
- (2) ASP:Application Service Provider アプリケーション・サービス・プロバイダー
業務用アプリケーションソフトを、インターネットを通じて顧客に提供する事業者のこと、またはその事業の仕組みそのものを指す用語で、次の特徴を備えています。
 - ① サーバを自己所有する必要がなく、導入の初期費用・維持管理費用が削減できます!(安い)
 - ② パソコンと回線があれば、短期間でシステムを利用できます!(早い)
 - ③ サーバは、セキュリティ万全のKJSデータセンター(KDC)で管理します!(安心)
- (3) 導入支援サービス
弊社の経験豊富なSEが、ソフトウェア導入の実情に即した解決策を提案し、導入、その後の維持・管理に至るまでトータルに支援しています。

今回、業務を受託いたします「和歌山県後期高齢者医療広域連合」は、健康保険法等の一部を改正する法律(平成18年法律第83号)に基づき、平成19年2月1日付けで和歌山県内すべての市町村が加入する広域連合として設置されたものです。今後、平成20年4月からの後期高齢者医療制度の運営に向けた取組みがなされます。

■ サービスの開始日

2007年3月22日(木)

■ KJSデータセンター(KDC)

所在地 和歌山市中之島2240番地 紀陽銀行向芝オフィス 内

■ サービスに関するお問い合わせ先

紀陽情報システム株式会社

公共企業システム事業部 公共営業部

宮本一光、覚野雅之

TEL 073-426-7538 E-mail: eigyo@k-js.co.jp

URL <http://www.k-js.co.jp/>

以上